

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS

2025年3月期 第3四半期

決算説明資料

円谷フィールズホールディングス株式会社

東証プライム市場
証券コード 2767

2025年2月

コンテンツ&デジタル事業セグメント

コンテンツ&デジタル事業では、5カ年中期経営計画の初年度にあたる当期のミッションを着実に遂行し、グローバルコンテンツビジネス企業としての確たる土台を築くべく、海外拠点の構築や人材強化、世界各地でのマーケティング施策等、積極的な活動と投資を行いました。幅広い人々に訴求する新たな映像作品を生み出し世界中にディストリビューションすることでブランド力と認知度を高め、それを梃に多様なビジネスを展開して参ります。

PS事業セグメント

PS事業を取り巻く環境では、新たなファン層を取り込みながら好調を維持するスマートパチスロに加え、ラッキートリガーなど進化したゲーム性を搭載したスマートパチンコが注目を集めております。また、今後も新しいIPや新規ゲーム性・機能を搭載した遊技機の登場によって更なる市場活性化が期待されております。PS事業の中核を担うフィールズ(株)では最新の市場動向に関する分析・研究を重ね、提携メーカーと共にパーラー・ファン双方のニーズに応える商品の開発・販売を通じ持続的な成長を目指しております。

(単位：億円)

連結P/L	2024年3月期		2025年3月期		
	3Q累計	通期	3Q累計	対前期増減率	通期予想
売上高	1,232.0	1,419.2	977.6	△20.6%	1,550
売上総利益	230.0	264.5	237.1	3.1%	-
販売管理費	106.8	146.3	143.2	34.1%	-
営業利益 (対売上高営業利益率)	123.2 (10.0%)	118.2 (8.3%)	93.9 (9.6%)	△23.8%	152 (9.8%)
経常利益	134.5	129.4	107.5	△20.0%	161
親会社株主に帰属する 四半期純利益	95.3	116.9	64.2	△32.6%	116
1株配当金(年間)		40円			40円

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

※ 2024年3月期(通期)については、「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を反映した数値を記載

(単位：億円)

事業セグメント別P/L		2024年3月期		2025年3月期		
		3Q累計	通期	3Q累計	対前期増減率	通期予想
コンテンツ&デジタル事業 セグメント	売上高	114.6	153.3	128.7	12.2%	180
	営業利益 (対売上高営業利益率)	30.0 (26.2%)	37.8 (24.7%)	27.9 (21.7%)	△6.9%	40 (22.2%)
PS事業セグメント	売上高	1,109.5	1,255.9	841.1	△24.2%	1,350
	営業利益 (対売上高営業利益率)	109.7 (9.9%)	104.1 (8.3%)	85.7 (10.2%)	△21.9%	135 (10.0%)
その他	売上高	12.0	16.0	12.6		
	営業利益	0.1	0.1	0.1		
調整額	売上高	△4.1	△6.1	△4.8		
	営業利益	△16.7	△23.8	△19.8		

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

コンテンツ&デジタル事業セグメント

(単位：億円)

	2024年3月期	2025年3月期	
	3Q累計	3Q累計	対前期増減率
売上高	114.6	128.7	12.2%
営業利益 (対売上高営業利益率)	30.0 (26.2%)	27.9 (21.7%)	△6.9%

	2024年3月期	2025年3月期	
	3Q累計	3Q累計	対前期増減率
MDライセンス収入	50.8	67.1	+32.0%
海外MDライセンス	36.0	51.5	+43.1%
国内MDライセンス	14.8	15.6	+5.0%
うち、映像・イベント収入	25.0	21.7	△13.0%
海外収入	43.7	58.3	+33.2%
国内収入	32.1	30.6	△4.6%

※千万円未満は切り捨てて表示しています。 ※MD：マーチャンダイジング

MD/ライセンス

▶ 詳細は次ページに記載

- 映像展開を通じたファン層の拡大を追い風に、日本・中国はもとよりアジア・北米での市場開拓を推進した結果、MD/ライセンス収入が増加
- 中国における『トイ&ホビー』及び『ライフスタイル』カテゴリーの収入が伸長
ブロック玩具や文具といった特に人気の高い商品に加えライセンス企業数や商品アイテム数の着実な増加が伸長に寄与

映像・イベント

- ファン向け大型イベント『ツブラヤコンベンション』の隔年開催の影響により、前年同期比で減収
- 新規映像2作品の放送・配信に加えて、テレビ・映画等の過去作品の配信・番組販売、オウンドメディア展開等に注力

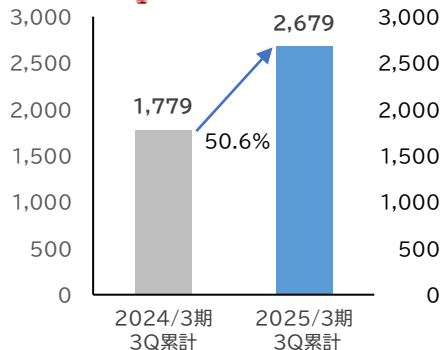
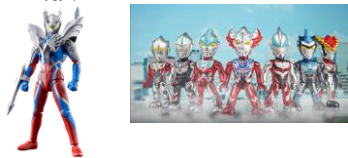
(単位:百万円)

主要商品カテゴリー別収入

トイ&ホビー

- ・ブロック玩具が引き続き伸長
- ・低価格帯玩具のライセンス拡大

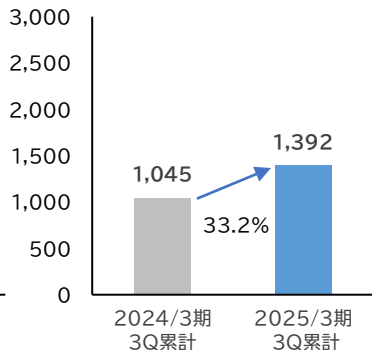
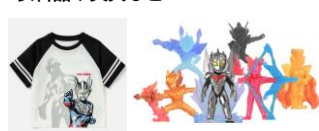
<玩具>



ライフスタイル

- ・文具、アパレル、日用生活雑貨が着実に増収

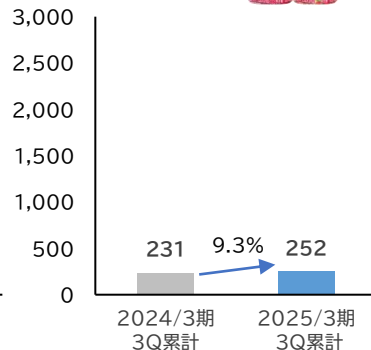
<衣料品や文具など>



FMCG

- ・食品分野で食玩、乳製品等の新たなライセンスが増加

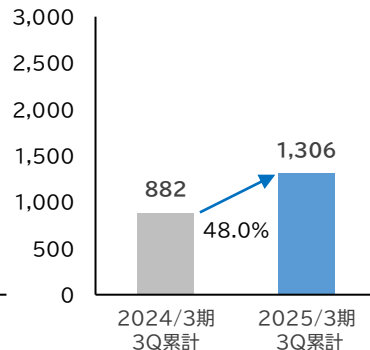
<食品など>



カードゲーム

- ・『ウルトラマン カードゲーム』をグローバルに新規販売
- ・中国の従来からのカードゲームの人気も継続

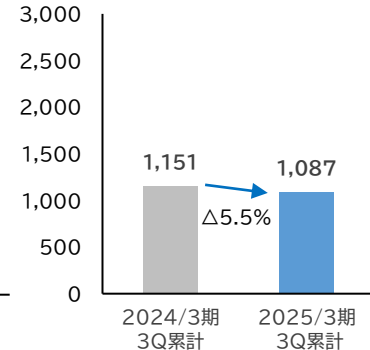
<カードゲーム>



その他

- ・海外でゲームや企業広告の収入が拡大
- ・前期はグリッドマンシリーズ等のライセンス収入が計上

<ゲームコラボや広告、書籍など>



- 「ウルトラマン カードゲーム」は、2024年10月に第1弾商品を販売し順調なスタート
- 2025年1月には第2弾商品を発売、4月には第3弾商品の発売を予定
- 以降も四半期に一度の頻度で戦略的に新商品を発売するとともに、2026年春の世界大会開催に向けて継続的なプロモーションを実行

<ウルトラマン カードゲームの出荷状況(1月末時点、途中集計)>

	出荷枚数
国内	約3,090万枚
海外	約3,250万枚
うち中国	約1,750万枚
うちアジア	約990万枚
うち北米	約370万枚
うち欧州	約130万枚
総受注	約6,340万枚

○ ブースターパック第2弾およびエクストラデッキ



©円谷プロ

PS事業セグメント

(単位：億円)

	2024年3月期	2025年3月期	
	3Q累計	3Q累計	対前期増減率
売上高	1,109.5	841.1	△24.2%
営業利益 (対売上高営業利益率)	109.7 (9.9%)	85.7 (10.2%)	△21.9%
販売実績			
パチンコ販売	16.2万台	6.9万台	△57.1%
パチスロ販売	6.6万台	6.2万台	△5.9%
合計	22.8万台	13.1万台	△42.2%

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

市場環境

- 全国のパーラーは、上半期は新紙幣発行対応の設備投資に重点が置かれたため新台購入投資を抑制

PS事業セグメントの状況

<フィールズ(株)>

- 上半期を商品のブラッシュアップ時期と位置付け、下半期の商品販売に向けた準備を着実に進行
- その結果、第三四半期(10月-12月)には、パチンコ3機種、パチスロ3機種の6機種、計8.3万台を予定通り販売
- 第4四半期は、パチンコ2機種、パチスロ5機種の販売が既に完了『スマスロ モンスターハンターライズ』はじめ数機種の再販対応中

<(株)エース電研>

- 旺盛な需要への対応に加え、当期より当社グループ入りしたことによるパーラーからの信頼感向上もあり業績が好調に推移
- フィールズ(株)との営業拠点の統合を進める等グループシナジー発現と効率化に向けた取り組みを進行中

	1Q	2Q	3Q	4Q
パチンコ	P GANTZ覚醒Sweet2000 P 弾球黙示録カイジ沼5 超欲望129×87%ver. P クイーンズブレイド4 UNLIMITED	P DD北斗の拳3 P 七つの美德 ゴールデンエンジェルタイム スイート99Ver. P 新世紀エヴァンゲリオン ~未来への咆哮~ PREMIUM MODEL(再販)	P 宇宙戦艦ヤマト2202 超波動 スマパチ SSSS.GRIDMAN P ゴジラ対エヴァンゲリオン セカンドインパクト G e ゴジラ対エヴァンゲリオン セカンドインパクト G 破壊神覚醒	e ULTRAMAN 2400★80 P リングにかける1 その他、後発機種等を販売中
	0.9万台	1.2万台(累計2.1万台)	4.8万台(累計6.9万台)	
パチスロ	L ゴジラ対エヴァンゲリオン(増産) スマスロ ストライク・ザ・ブラッド L ウルトラマンティガ スマスロ ストリートファイターV 挑戦者の道	L ゴジラ対エヴァンゲリオン(増産) L アカメが斬る! 2	L 真・一騎当千 スマスロ モンスターハンターライズ L 犬夜叉 2	L サラリーマン金太郎 L 東京喰種 Lパチスロ シン・エヴァンゲリオン スマスロ バイオハザード5 L 仮面ライダー電王
	2.1万台	0.7万台(累計2.8万台)	3.4万台(累計6.2万台)	
合計	2.9万台	1.9万台(累計4.9万台)	8.3万台(累計13.1万台)	

※プライベートブランドは青枠で記載

Appendix

2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

連結B/S、連結C/F

(単位：億円)

連結B/S	2024年3月末	2024年12月末	対前期増減額
流動資産	648.4	762.5	+114.0
固定資産	334.3	304.4	△29.8
資産合計	982.8	1,066.9	+84.1
流動負債	306.1	428.2	+122.1
固定負債	116.8	123.8	+6.9
負債合計	422.9	552.0	+129.1
純資産合計	559.8	514.8	△44.9
負債純資産合計	982.8	1,066.9	+84.1

連結C/F	2024年3月期 3Q累計	2025年3月期 3Q累計	対前期増減額
営業キャッシュ・フロー	8.7	△3.3	△12.0
投資キャッシュ・フロー	△56.7	10.4	+67.2
財務キャッシュ・フロー	△44.1	△105.5	△61.4
現金及び現金同等物の増減額	△92.1	△98.4	△6.3
現金及び現金同等物の期首残高	364.9	348.1	△16.8
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	1.6	+1.6
現金及び現金同等物の期末残高	272.8	251.3	△21.4

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

※ 2024年3月期については、「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を反映した数値を記載

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS

免責事項

本資料に掲載されている当社の計画、戦略、予想等は、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場における競争状況、取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。